

要旨は、議事録から抜粋してまとめた内容であるため、発言の趣旨などは、議事録の発言前後の内容をご確認ください。

「入学前における就学児童の情報収集」

【入学前における就学児童の情報収集方法について】

調査結果

- ・すべての小学校で就学前児童の情報収集を実施
- ・各校の取組み数には差がある。

本調査結果は、選択式ではなく、記述式の回答を集約した暫定版であるため、実際に実施している取組みでも、回答がない取組みについては、資料上では実施していないものとなっている。

小学校の個別の取組み事例

- ・入学予定者を対象に、小学校で入学体験会を実施している。
- ・入学予定者が在籍している幼稚園・保育園等から、聞き取りを実施している。
- ・保育園に出向き、模擬授業を実施している。
- ・保育園の園児を小学校に招き、給食体験会を実施している。

【チューリップシートの改訂について】

改訂のポイント

- ・新1年生のいる世帯を対象に、希望者配付から全世帯配付に変更
- ・保護者の方が記入しやすい形式に改訂（記述式 二者択一方式）

実施現場や教育委員からの主な意見

【入学前における就学児童の情報収集方法に関する意見】

- ・体験会を実施して、入学予定者に学校に来ていただくというのは良いアイデアだと思う。＜議事録 P8 小学校長＞
- ・今まで小学校は、自分の目で子どもたちの情報を得ようと余りしていなかったと思う。園に聞き取り調査で来られるが、すべてのお子さんについて実施されているわけではない。＜議事録 P9 園長＞
- ・学校側が自分の目で子どもたちを見るというのはとても大事なことである。各学校の良い取組みを拡げていかなければならない。＜議事録 P11 教育委員＞
- ・調査結果の取組み数を見るだけでは誤解が生じるのではないか。げんきからの調査の意図が学校に伝わっていないため、調査に対する意識の差があるのではないか。＜議事録 P12.13 教育委員＞

【チューリップシートの改訂に関する意見】

- ・保護者には、全員配付に戸惑いの声もある。 < 議事録 P8 園長 >
- ・質問は良い内容であり、保護者が書きやすくなっている。
< 議事録 P8 園長 >
- ・園からの記入欄がなくなったため、園でのお子さんの様子を小学校にどのように伝えていくかという点に課題がある。 < 議事録 P10 園長 >
- ・必要に応じて学校と面談を行う流れに変更されたため、学校から保護者に面談しましょうというときに、入学前から学校と保護者の関係がこじれないように、これからのチューリップシートのあり方もよく説明して保護者に渡すのが大事なことなのではないかと感じている。 < 議事録 P12 小学校長 >
- ・多言語対応が必要ではないか。 < 議事録 P11 教育委員 >

【情報連携などに関する意見】

- ・チューリップシートに園からの記入欄がなくなったため、きちんとした聞き取りをやらないといけないということが今回非常に明確になった。
< 議事録 P15 教育長 >
- ・保護者への支援が必要なケースも多々あるため、「就学前から学校へのスムーズな移行」+「家庭への支援と学校へ通うお子さんへの支援」がつながるような仕組みづくりというのが必要なのではないのか。
< 議事録 P13 教育委員 >
- ・療育機関の体制の充実が必要ではないか。 < 議事録 P19 教育委員 >

今後について

- ・就学前児童の情報収集方法を精査し、再度、調査を実施する。
- ・学校から園への聞き取り方法や時期などについて、再度実施する調査結果をもとに一定程度のルールを検討していく。
- ・今年度の実施結果をもとに、チューリップシートの検証を実施する（多言語化含む。）
- ・関係する全ての部が連携して発達支援に取り組んでいく。
- ・療育機関については、開設に向けて着々と準備を進めていく。